

## その他 検討事項

# ロードマップの実現に当たっての制度等の課題

## 1. 住宅分野

### (1) 太陽光発電利用時の系統電力契約

- ① 集合住宅利用時の住宅並みの売電価格(業務用契約で区分される点の解消)
- ② 賃貸住宅で借主が利用する場合の売電条件(借主変更時も設置時の契約条件が引き継がれるなど)

### (2) 情報開示・情報の有効利用

- ① スマートメーターの情報の公共目的利用(ベンチマーク値の作成)

### (3) 自治体等の制度に関する課題対応

- ① 潜熱回収型給湯器のドレン水の排水に当たっての雨水管の利用  
- 下水道管理者の設定する基準の見直

## 2. 建築物分野

### (1) 建築物の室内環境に関する基準

- ① 欧米と比較して最低基準値の高い、照明基準の緩和
- ② 室内空気基準(湿度、CO2濃度)の検討(適切な室内環境の維持と省エネ化の両立の検討)

### (2) 情報開示による情報の有効利用

- ① スマートメーターの情報の開示
- ② 省エネ法報告データの公共目的利用(ベンチマーク値の作成)

### (3) ビル衛生管理法

- ① 主管団体との連携強化

### (4) エネルギーコストのインセンティブスプリット対策

- ① 一定以上のエネルギー消費分の費用をオーナーとテナントで共同負担

## 3. 共通

### (1) 各種補助金のエコ化

- ① 住宅新築時に各種補助金があるが、エコ化が目的外のものでは、エコ化設備を含めた形での利用が困難
- ② 各種補助金は、すべてエコ化を目的に含む形に見直し

## 目標の早期提示

[2030新築フローゼロエミ化、2050ストック平均ゼロエミ化]

## 継続性を持った施策の展開



事業者の努力、  
消費者の意識を誘導

### 1. ゼロエミ住宅の普及に向けて早期に取り組むべき対策・施策

#### (1) 住宅ゼロエミ基準

- ① 住宅の環境基本性能基準としてゼロエミ基準の設定
- ② 早期にゼロエミ住宅(含むカーボンマイナス住宅)の普及を図る
- ③ ゼロエミ・レディ住宅<sup>(注)</sup>の要件化

#### (2) 断熱改修

- ① 改修誘導と建替誘導の区分の明確化

### 2. ゼロエミ建築物の普及に向けて早期に取り組むべき対策・施策

#### (1) 建築物ゼロエミ基準

- ① 建築物の環境基本性能基準としてゼロエミ基準の設定
- ② ゼロエミ・レディ建築物<sup>(注)</sup>の要件化

#### (2) 地域との連携の仕組み

- ① 中層階以上の建築物では、オンサイトでのゼロエミッションの達成は困難
- ② 地域内での面的な取組みや、エリアでの需給マネジメントの仕組みの整備
- ③ オフサイトの再生可能エネルギー導入推進制度の整備 (農山村地域との連携)

(注)設備更新や創エネ機器の導入等によりゼロエミが可能な住宅・建築物

# 今後の課題

## 1. 住宅分野

### (1) ライフスタイルの対策・施策の検討

- ・ コミュニケーション・マーケティングWGと連携した検討

### (2) 長期目標に関する検討

- ・ 住宅のゼロエミ化の対策・施策の検討

## 2. 建築物分野

### (1) 中小規模建築物および中小事業者に対する対策・施策の検討

- ・ 中小向けの対策・施策の検討
  - 中小向けのBEMS等の普及など

### (2) 長期目標に関する検討

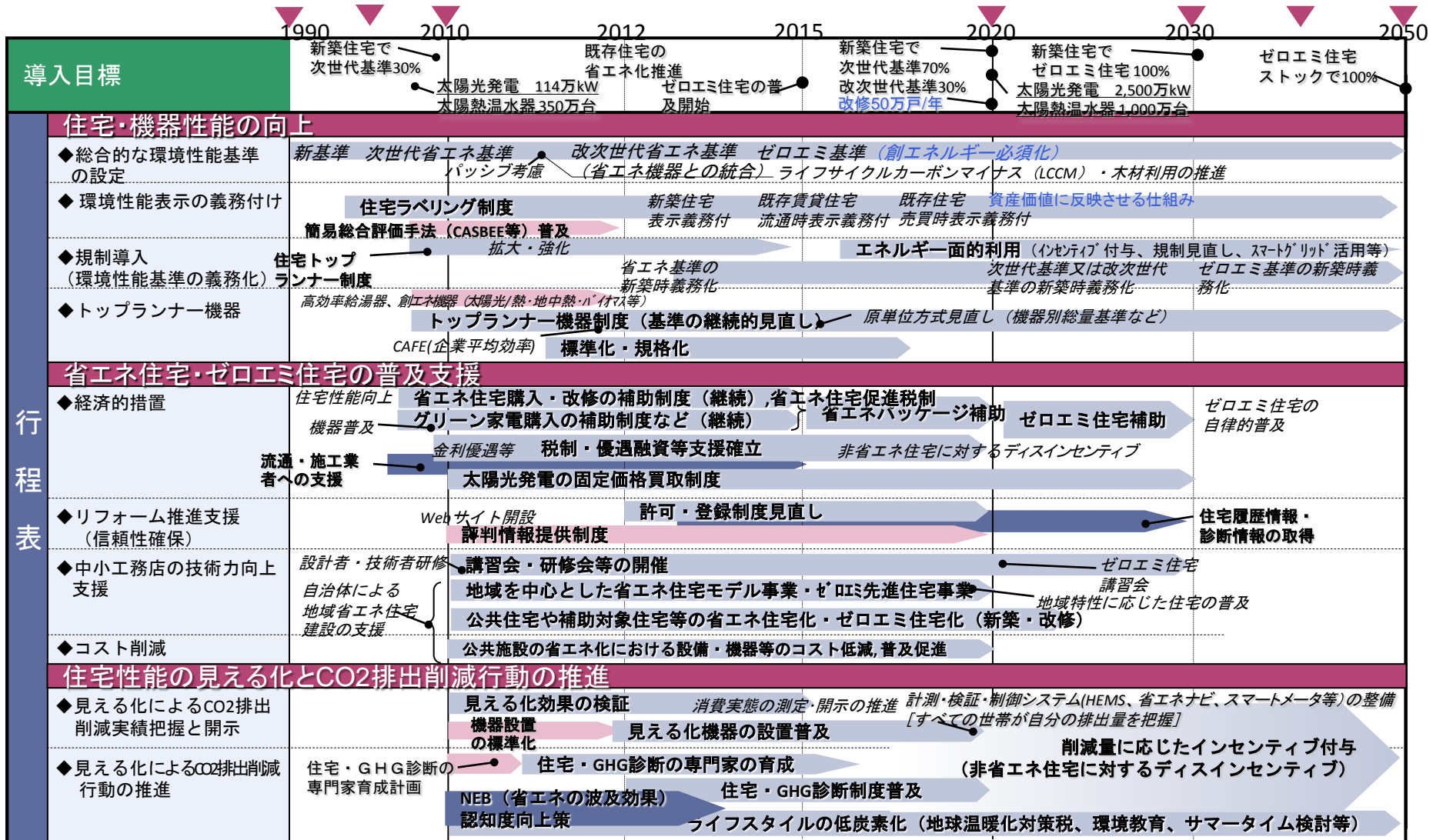
- ・ 建築物のゼロエミ化の対策・施策の検討

## 3. 他のWGとの連携

### (1) 個別の課題について連携して検討

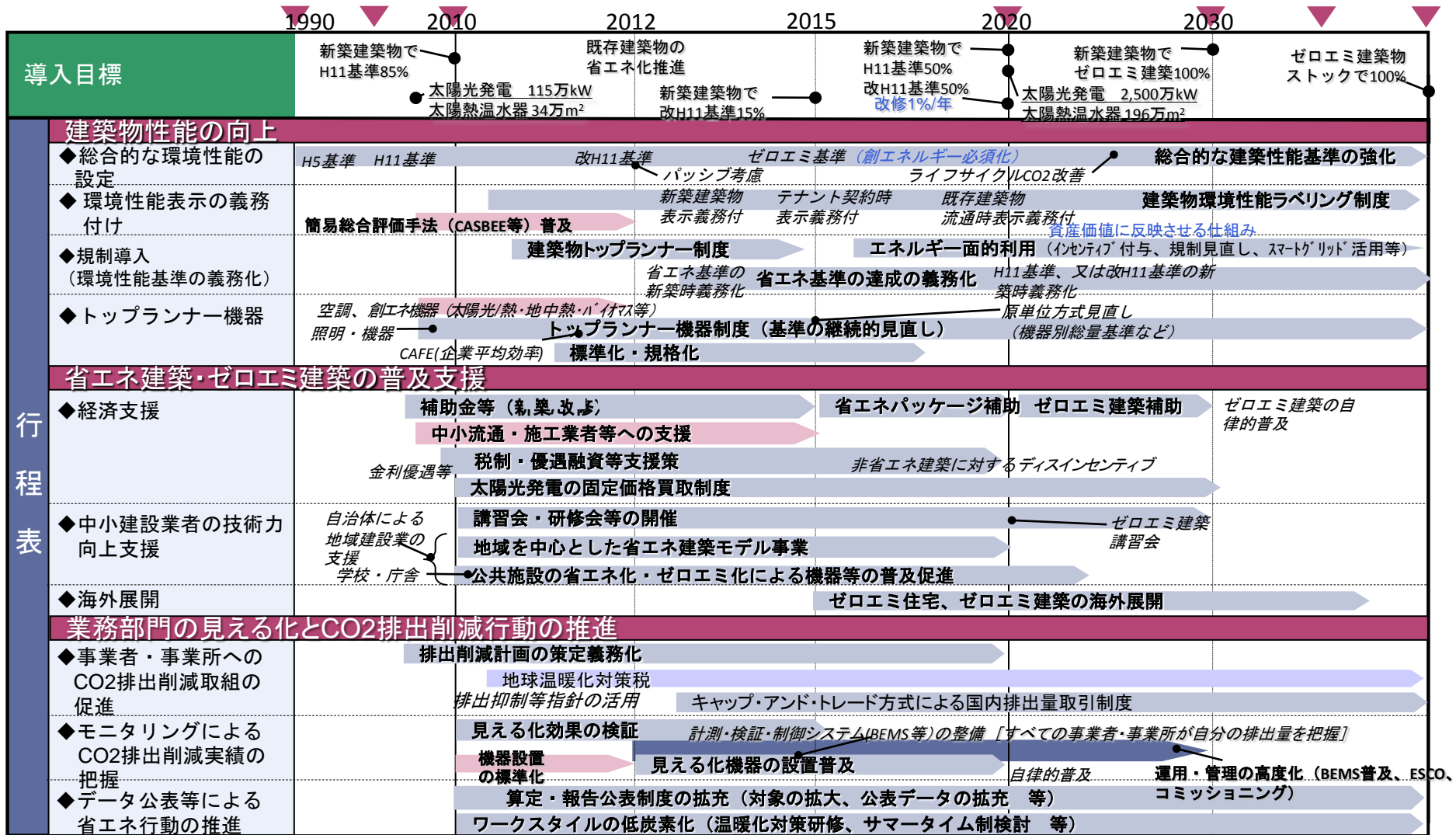
## 參考資料

# 昨年度ロードマップの概要(住宅・家庭部門)



\* 2011年度から実施される地球温暖化対策税による収収等を活用し、上記の対策・施策を強化。  
 対策を推進する施策

# 昨年度ロードマップの概要(建築物・業務部門)



\* 2011年度から実施される地球温暖化対策税による税率等を活用し、上記の対策・施策を強化。  
▶ 対策を推進する施策 ▶ 準備として実施すべき施策

# 断熱改修の現状

(1) 断熱工事の実施件数はH16以降で43万件

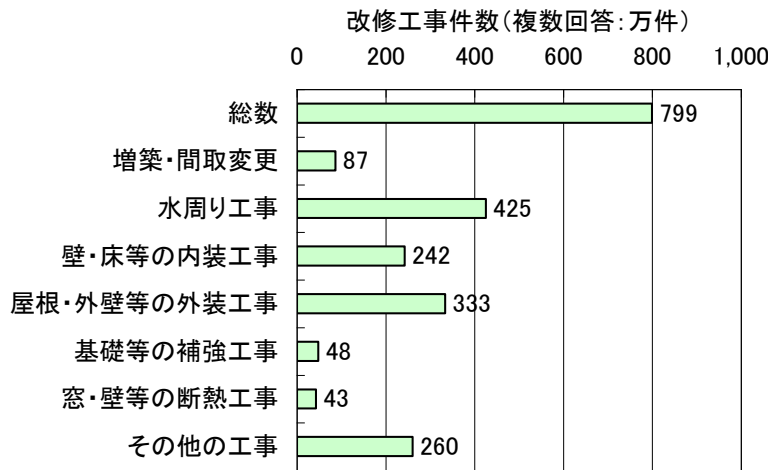
- ① 年当たりでは約8万件
- ② 住宅全体に対する実施率では約0.3%/年

(2) 住宅エコポイントの状況(～2010年8月末)

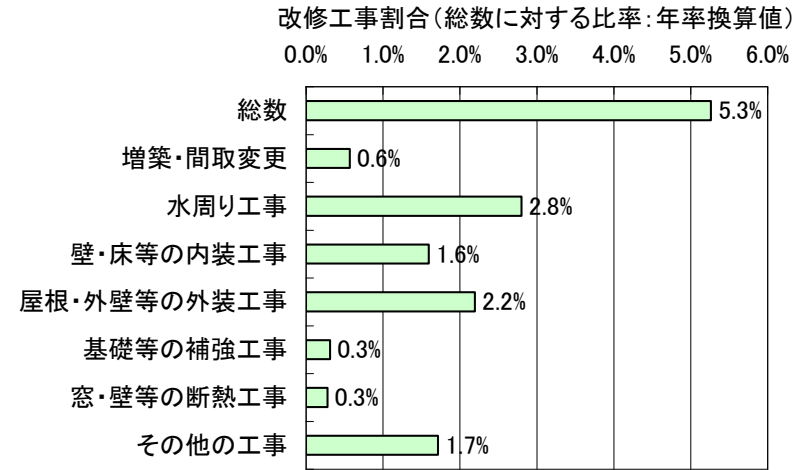
- ① 外壁、屋根・天井、床の断熱改修の申請は少ない
- ② 多くは窓の断熱改修

## 【H16以降(5年間)の改修工事の実態】 H20住宅土地統計調査

平成16年以降の改修工事の状況



平成16年以降の改修工事の実施率



### 住宅エコポイント事業 の実施状況 (～2010年8月末)

	平成22年8月単月			累計		
	戸数	発行件数	該当率	戸数	発行件数	該当率
エコポイントの発行	42,647	37,887	100.00%	140,853	133,767	100.00%
新築	17,792	13,427	78.21%	40,843	34,631	25.89%
リフォーム	24,855	24,460	21.79%	100,010	99,136	74.11%
窓の断熱改修		24,062	17.24%		97,679	73.02%
外壁、屋根・天井又は床の断熱改修		1,581	2.32%		4,678	3.50%
バリアフリー改修		6,077	2.35%		20,108	15.03%

注)一括申請した場合、1件の申請で複数の住戸の申請が可能